

2019年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2018年11月7日 東

上場会社名 株式会社朝日ネット 上場取引所
 コード番号 3834 URL <https://asahi-net.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 土方 次郎
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員社長室長 (氏名) 小松 大 (TEL) 03-3541-8311
 四半期報告書提出予定日 2018年11月14日 配当支払開始予定日 2018年12月6日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期第2四半期の業績 (2018年4月1日～2018年9月30日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第2四半期	4,789	4.8	569	84.5	574	83.1	400	79.2
2018年3月期第2四半期	4,568	6.8	308	△47.8	313	△47.2	223	△47.9
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
2019年3月期第2四半期	13.54		—					
2018年3月期第2四半期	7.56		—					

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年3月期第2四半期	11,249	9,925	88.2
2018年3月期	10,707	9,679	90.4

(参考) 自己資本 2019年3月期第2四半期 9,925百万円 2018年3月期 9,679百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	—	9.00	—	9.00	18.00
2019年3月期	—	9.00	—	—	—
2019年3月期(予想)	—	—	—	9.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年3月期の業績予想 (2018年4月1日～2019年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,000	7.1	1,200	42.3	1,200	40.9	840	45.4	28.38

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2019年3月期2Q	32,000,000株	2018年3月期	32,000,000株
------------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2019年3月期2Q	2,394,579株	2018年3月期	2,418,579株
------------	------------	----------	------------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

2019年3月期2Q	29,591,707株	2018年3月期2Q	29,581,421株
------------	-------------	------------	-------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

業界の動向

ISP（インターネット・サービス・プロバイダ）業界におきましては2018年6月末のFTTH（光ファイバー）の利用者が2018年3月末に比べて25万件増の3,055万契約に達するなどFTTHの利用者数は一貫して純増が続いております。

MVNOサービスの契約者数は2018年3月末に比べて141万増の1,981万契約に達しております。そのうち高速モバイル通信やIoT（Internet of Things）/M2M（Machine to Machine）に利用されるSIMカード型の契約者数は2018年3月末に比べて43万増の1,173万契約と順調に伸びております。

インターネットにおけるトラフィックに関しては、総務省が2018年8月に公開した集計結果で報告されているとおり1契約当たりのトラフィック推移は前年対比27.9%増の316.9kbpsで推移しております。加速するトラフィック増大問題への対応が業界において課題となっております。

インターネット接続サービスの状況

インターネット接続サービスの状況といたしましては、第1四半期に引き続き「光コラボレーションモデル」を活用したサービスとして提供している「AsahiNet 光」、マンション全体での一括契約を前提とした接続サービス「マンション全戸加入プラン」での入会が好調に推移しております。その結果、2018年9月末のASAHIネットの会員数は610千ID（前年同期末比23千ID増）となりました。

2018年4月から開始したネイティブ方式（IPv6 IPoE）のネットワーク上でIPv4固定アドレスを利用できる新サービスは2018年度内での受注を予定しております。またASAHIネット以外の他ISP事業者に対してIPv6接続サービスをローミング提供するVNE事業は第2四半期よりサービス提供を開始しました。

教育支援サービスの状況

教育支援サービス「manaba」（マナバ）においては、2018年9月末の契約ID数は648千ID（前年同期末比31千ID増）となりました。2018年9月末の全学導入校は浜松医科大学、長浜バイオ大学に導入いただき88校（前年同期末比10校増）となりました。

大規模多数同時参加型オンライン（MMO）アンケートアプリ「respon」（レスポン）や、学生による授業アンケートを実現する「授業アンケート」オプションの導入も増加しております。なお「respon」に関して、2018年8月に株式会社レスポンへ事業を譲渡いたしました。今後はレスポン社のサービスを当社が販売店として提供してまいります。「manaba」の活用シーンは、授業内外における教員・学生間での活用に加えて大学からのお知らせの配信や出席管理、教育内容の改革の一環として実施するアンケート等、多様化が進んでおります。

収益の状況

「AsahiNet 光」や「マンション全戸加入プラン」などの拡販により前年同期と比較して売上高、営業利益とも増加しております。2019年3月期の事業計画に対してはほぼ計画通りに進捗しており、業績予想の変更はございません。

以上の結果、当第2四半期累計期間の売上高は4,789百万円（前年同期比4.8%増）、営業利益は569百万円（同84.5%増）、経常利益は574百万円（同83.1%増）、四半期純利益は400百万円（同79.2%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期会計期間末における資産、負債及び純資産の状況は以下のとおりであります。

(資産)

当第2四半期会計期間末の流動資産合計は8,483百万円(前事業年度末比377百万円増)となりました。また、固定資産合計は2,765百万円(同164百万円増)となりました。

以上の結果、当第2四半期会計期間末の資産合計は11,249百万円(同542百万円増)となりました。

(負債)

当第2四半期会計期間末の流動負債合計は1,322百万円(同296百万円増)となりました。

以上の結果、当第2四半期会計期間末の負債合計は1,323百万円(同296百万円増)となりました。

(純資産)

当第2四半期会計期間末の純資産合計は9,925百万円(同246百万円増)となりました。

以上の結果、自己資本比率は88.2%となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2018年5月8日に公表した業績予想から修正は行っておりません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2018年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2018年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,065	4,494
売掛金	1,653	1,567
有価証券	2,200	2,200
貯蔵品	11	121
その他	196	119
貸倒引当金	△20	△19
流動資産合計	8,105	8,483
固定資産		
有形固定資産	1,030	1,128
無形固定資産	326	302
投資その他の資産		
投資その他の資産	1,244	1,334
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	1,244	1,334
固定資産合計	2,601	2,765
資産合計	10,707	11,249
負債の部		
流動負債		
買掛金	516	525
未払金	407	370
未払法人税等	2	196
その他	99	229
流動負債合計	1,026	1,322
固定負債	1	1
負債合計	1,027	1,323
純資産の部		
株主資本		
資本金	630	630
資本剰余金	780	783
利益剰余金	9,125	9,260
自己株式	△1,027	△1,017
株主資本合計	9,508	9,655
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	170	269
評価・換算差額等合計	170	269
純資産合計	9,679	9,925
負債純資産合計	10,707	11,249

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位:百万円)

	前第2四半期累計期間 (自2017年4月1日 至2017年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)
売上高	4,568	4,789
売上原価	3,361	3,369
売上総利益	1,206	1,420
販売費及び一般管理費	898	851
営業利益	308	569
営業外収益		
受取配当金	2	2
不動産賃貸料	2	2
その他	0	0
営業外収益合計	5	5
営業外費用		
不動産賃貸費用	0	0
その他	0	0
営業外費用合計	0	0
経常利益	313	574
特別利益		
投資有価証券売却益	—	6
特別利益合計	—	6
特別損失		
固定資産除却損	—	0
特別損失合計	—	0
税引前四半期純利益	313	579
法人税等	90	179
四半期純利益	223	400

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第2四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。